

News Release



平成 30 年 4 月 19 日
株式会社日本政策投資銀行
Saïd Business School, University of Oxford

DBJ-Oxford グローバル経営人財育成プログラム ～戦略的アライメント編～ 実施にかかる相互の協力について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、英国の Saïd Business School, University of Oxford（オックスフォード大学 サイド・ビジネス・スクール、以下「オックスフォード大学」という。）との間で、DBJ-Oxford グローバル経営人財育成プログラム～戦略アライメント編～（Global Strategic Alignment Leadership Programme、以下「GSALP」という。）を新たに創設することとしました。

GSALP は、DBJ が事業活動を通じて目指す「経済価値と社会価値の両立」が、オックスフォード大学ジョナサン・トレバー教授の提唱する「戦略的アライメント（Strategic Alignment）理論」と合致する旨について、DBJ およびオックスフォード大学の双方が合意し、新たに共同で立ち上げた、独自の教育プログラムです。2018 年度のプログラムは、3 つのモジュール（東京編、オンライン編、英国編）より構成され、DBJ の若手職員を対象とした、全編英語での開催を予定しております。

今後、DBJ とオックスフォード大学は、GSALP のプログラム開発、運営などにおいて、相互に協力していく予定です。DBJ は、GSALP に係る協力を通じ、日本の国内外においてお客様が抱える多様な経営課題を解決しうる「グローバル経営人財」を、組織内において今後育成し、長期ビジョン 2030、第 4 次中期経営計画で掲げる各種目標を実現することを目指します。

【プログラムディレクター】

Saïd Business School, University of Oxford, Professor Jonathan Trevor

- ・ 専門分野：
組織論、人財マネジメント等
- ・ 略 歴：
英国ケンブリッジ大学にて経済学および経営学の Ph.D. を取得。英国で経営コンサルティング業務に従事した後、ケンブリッジ・ジャッジ・ビジネススクールにおいて講師を務め、2011 年には同校で The distinguished teaching award を受賞。2010 年に米国ヴァージニア大学で客員研究員、2013 年に慶應義塾大学では客員教授を歴任。
2015 年より現職において、オックスフォード大学 MBA、EMBA プログラム

で教鞭をとる他、「戦略的アライメント理論」を主なテーマとし、「組織が長期的な目標を実現するためのビジネス上のあらゆる要素の最適化」について研究を行い、**Harvard Business Review** や **MIT Sloan Management Review** を始めとした様々な媒体を通じ、論文等の発表も行っている。

また、あらゆる国籍の多くの産業に属する企業とも協働し、自身の掲げるテーマである、「**The best companies are the best aligned**（最も優れた企業は最もアライメントを実現できている企業である）」を応用し、企業の変革活動も支援している。

●DBJ 長期ビジョン 2030 および第 4 次中期経営計画について

関連リンク：

http://www.dbj.jp/ja/topics/dbj_news/2017/files/0000027274_file1.pdf

●オックスフォード大学サイド・ビジネス・スクールについて

関連リンク：<http://www.sbs.ox.ac.uk/>

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、他機関との連携・協働を通じた人財育成に全グループで粘り強く取り組み、経営基盤強化を実現すべく、挑戦を続けてまいります。

【お問い合わせ先】

株式会社日本政策投資銀行 人事部 電話番号 03-3244-1800